2026 Vol.168
令和8年1月

福井県老連

題字／吉川 壽一 書

発行
一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
〒910-0026
福井市光陽2丁目3-22（福井県社会福祉センター内）
TEL.0776-24-4853
FAX.0776-24-4580
E-mail：fukuirr@yacht.ocn.ne.jp
HP：http://fukui-rouren.jp

のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

美浜町老人クラブ連合会

「久々子弁天クラブ」と「くぐしみんなの食堂」がコラボし、地域の絆を深めるeスポーツ体験会を開催。ゲームを通じて、子どもたちと高齢者が一緒に楽しみながら健康づくりに取り組みました。参加者の笑顔と元気が広がった素晴らしい交流のひととき！

（関連記事は13ページをご覧ください）

目次

会長・福井県あいさつ …… 2～3
第52回福井県老人クラブ大会 …… 4～5
表彰一覧…… 6～7
第54回全国老人クラブ大会 …… 8
ふくい健康長寿祭2025 「趣味の作品展」…… 9
公式ワナゲ交流大会・公式ワナゲ体験会 … 10～11
令和7年度市町別友愛募金配分状況 …… 12
eスポーツ交流体験会 …… 13
各地の活動から…… 14～15
スコップ三味線チーム誕生 …… 16

■編集制作　株式会社ニチコミ　名古屋市中村区名駅南1丁目20-12 ヨンゴービル4階　☎052-485-4645　ホームページ https://www.nichicomi.com

新年のごあいさつ

福井県老人クラブ連合会
会　長　三上　利明

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お元気で新春をお迎えになられましたこと心からお慶び申し上げます。

昨年は、「昭和」で数えると１００年、そして戦後80年の節目の年でした。

この「昭和」は、最も長く続いた時代ですが、その初期は世界恐慌に我が国も襲われ、その後は日中戦争から太平洋戦争へと戦火が拡大し、昭和20年のポツダム宣言受諾で終戦を迎えましたが、戦後の復興そして高度経済成長、バブル期と日本社会の明暗をくっきりと映し出したのが「昭和」という時代でした。

会員の皆様の多くが、この激動の「昭和」を生き抜かれ、我が国の繁栄の礎を築かれたわけですが、終戦から80年の経過とともに、戦後生まれの人の人口が９割を占めるようになり、戦争の記憶が徐々に薄れていき「昭和」という時代が遠ざかっていく今日です。

総務省の発表によれば、65歳以上の高齢者は３６１９万人、高齢化率は29・４％と過去最高を更新しました。

また、高齢者の就業者数も約９３０万人と過去最多を更新し、働く人の７人に１人が高齢者であるなど、働き手不足の中で元気な高齢者が、今なお日本経済の一翼を担っています。

一方で高齢者の増加とともに、一人暮らしの高齢者も年々増加しており、内閣府の「高齢社会白書」によれば、その割合は男性では18・３％、女性では25・４％を占め、今後も増加する見通しとなっています。

このように単身高齢者や高齢夫婦が増加したとしても、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らし、ともに支え合う「地域共生社会」を実現することが、今こそ求められているのではないでしょうか。

私たち老人クラブも当事者として、そして地域社会の一員として、クラブ活動を通じて仲間づくりや健康づくり、地域づくりにこれからも生きがいを持って取り組み、自らが培ってきた経験を生かしてまいりましょう。

最後になりますが、本年も会員の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝、ご活躍をご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願いします

会　長	三上　利明	（鯖江市）
副会長	廣部　重紀	（福井市）
〃	森久　照雄	（美浜町）
〃	井上　美智子	（県老連女性委員長）
理　事	松本　幸太郎	（敦賀市）
〃	芝　美代子	（小浜市）
〃	飯田　賢治	（大野市）
〃	松井　拓夫	（勝山市）
〃	西森　幸作	（あわら市）
〃	山本　正男	（越前市）
〃	川﨑　周市	（坂井市）
〃	大谷　進	（永平寺町）
〃	畠中　幸徳	（池田町）
〃	高谷　皓之	（南越前町）
〃	髙橋　健一	（越前町）

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

新年のごあいさつ

福井県

福井県老人クラブ連合会会員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、県立恐竜博物館の特別展で過去最多の来館者数を記録するなど、新幹線県内開業から二年目を迎えても全国から引き続き多くの方に来県いただきました。また、「越前鳥の子紙」のユネスコ無形文化遺産登録やデジタル庁の調査における県民の幸福実感・全国一位など、福井らしさに磨きがかかり、国内外に発信された一年となりました。

新しい年も、開業効果を持続し、次の成長につなげていきます。付加価値の高い産業や農林水産業の振興、人材確保対策、観光や文化芸術・スポーツを通じた交流人口の拡大、アリーナ整備、嶺南地域のリゾートエリア形成などを推進するとともに、小浜京都ルートによる北陸新幹線の早期全線開業に全力を尽くします。

また、子どもたちの夢や希望、地域への愛着を育む教育の推進、結婚・出産・子育ての切れ目ない支援、ＵＩターンの促進、さらには魅力ある仕事づくりや女性活躍・働き方改革などに取り組み、若い世代にも選ばれる地域づくりを進めます。このほか、幸福度日本一の基盤のもと、医療・介護・福祉の充実、防災・減災強化など、日々の暮らしの安心安全を守りながら、子どもからシニアまで、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指します。

老人クラブのみなさまにおかれましては、日ごろから地域交流や健康づくりなどに積極的に取り組まれ、いきいきと活動されておられますことに、心より敬意を表します。本年も、これまで培ってこられた豊富な知識と経験を活かし、地域の高齢者の先導役となって、支え合い活動や社会参加の担い手としてご活躍くださるようご期待申し上げます。

年頭に当たり、福井県老人クラブ連合会のますますのご発展と会員のみなさまの健康長寿をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

〃　上尾　徳郎（高浜町）
〃　中塚　浅石衛門（おおい町）
〃　川島　富士夫（若狭町）
〃　山田　光俊（県社協常務理事）
常務理事　伊勢　信三（県老連事務局長）
監　事　杉本　隆洋（あわら市）
〃　一瀬　邦生（高浜町）
評議員　北山　秀一（福井市）
〃　谷川　幸男（敦賀市）
〃　久保　隆保（勝山市）
〃　奥谷　崇（鯖江市）
〃　寺嶋　康至（坂井市）
〃　大南　善夫（若狭町）
〃　清水　八千子（県老連女性副委員長）
〃　岡　照晃（県長寿福祉課長）

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

第52回 福井県老人クラブ大会開催

10月9日（木）、越前市いまだて芸術館において第52回福井県老人クラブ大会が盛大に開催され、県下17市町連合会の代表約500名が参加し、地域共生社会の実現に向け、地域で支え合う関係づくりに尽力することが、地域の活性化や新たな仲間づくりにつながることを誓いました。

宮本
福井県議会議長

中村
福井県副知事

大久保
越前市議会議長

山田
越前市長

《第1部　式典》

式典は山本越前市いきいきシニア連会長の歓迎のことばに始まり、三上福井県老連会長の挨拶に続いて、福井県知事表彰、福井県老連会長表彰等を行いました。受賞された皆様、本当におめでとうございます。これからもお元気で、地域の力としてご活躍されることを期待しています。

続いて、来賓としてご出席いただいた中村福井県副知事、宮本福井県議会議長、山田越前市長、大久保越前市議会議長よりご祝辞をいただきました。

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

大会宣言

少子高齢化・人口減少の流れが加速し、団塊の世代が75歳を迎えるなど、私たちは本格的な「超高齢化社会」に突入しています。

こうした中、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって、共に支え合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現することがますます重要なテーマとなっています。

また、高齢者の健康や生活維持、社会からの孤独・孤立、消費者被害など、多様な生活課題も顕在化しています。

こうした課題に対して、私たち老人クラブも地域の一員として「地域共生社会」の実現に向け、地域での仲間づくりや健康づくり、介護予防活動等に加えて、高齢者相互の支え合い活動や見守り活動などに取り組んでまいりました。

地域のつながりが希薄化する現状においては、老人クラブの果たす役割は極めて重要であり、これまで取り組んできた仲間づくりや支え合いの活動を、関係団体と連携しながらさらに充実・発展させていくことを地域からも求められています。

私たち老人クラブ会員はこうした期待に応えるため、「幸せを実感できるふるさと」ここ越前市において、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

一、老人クラブ活動の基盤となる会員増強に努め、
　活動の活性化を推進します
一、地域の友愛活動に積極的に参加し、
　高齢者の暮らしを支えます
一、健康づくりや介護・フレイル予防活動を充実し、
　健康寿命を延ばします
一、高齢者を取り巻く交通事故や
　消費者被害の防止に向けた啓発活動を推進します
一、高齢者の尊厳と命が守られる
　「地域共生社会」の実現を目指します

令和7年10月9日
第52回　福井県老人クラブ大会

大会を彩る美しい歌声

《第2部アトラクション》

地元アトラクションとして、ベンチャーズ大好き仲良し同級生を中心に6人で活動しているその名も「ベンチャーズ同好会」の皆さんに、テケテケサウンドでおなじみの「ダイヤモンドヘッド」や「思い出の渚」など、昭和の懐かしい曲の数々を演奏していただきました。リズムに乗った手拍子が会場に響き渡り、アンコールも自然と湧き上がりました。

続いて大会宣言の採択、次回開催地である大野市老連の飯田会長より挨拶があり、廣部福井県老連副会長の閉会のことばで幕を閉じました。

なお今回、表彰を受けられた方は次頁のとおりです。

受賞された皆様、おめでとうございます

令和7年度 福井県老人クラブ連合会会長表彰

◇老人クラブ育成指導功労表彰◇

大音　桂子（福井市）
加藤　武敏（福井市）
辻田　勝美（福井市）
服部　悟（福井市）
菅野　光男（敦賀市）
鈴木　一男（敦賀市）
田辺　和夫（敦賀市）
芝田　友貞（小浜市）
松田　英子（大野市）
銅子　利一（大野市）
加藤　健一（勝山市）
齋藤　晋（鯖江市）
夏梅　直美（鯖江市）
番場　明美（あわら市）
芹川　雅敏（越前市）
山田　昭榮（越前市）
林　秀明（越前市）
北嶋　紘子（越前市）
大嶋　誠（坂井市）
中川　輝雄（坂井市）
黒川きみ代（坂井市）
南保　秀樹（永平寺町）
山本　康雄（池田町）
上島　信敬（南越前町）
榎　義男（越前町）
宮川　絹祥（越前町）
森内　正美（おおい町）

◇優良老人クラブ表彰◇

東藤島老人連合会（福井市）
曙・天筒町　白寿会（敦賀市）
荒土町第４クラブ（勝山市）
坂口シニアクラブ（越前市）
西部第１クラブ（坂井市）
甲楽城福寿会（南越前町）

令和7年度 老人クラブ育成功労者 知事表彰

粟田　公二（福井市）
横田　幸治（福井市）
野波　一男（敦賀市）
堂前　存守（小浜市）
南部恵美子（大野市）
松井　誠一（勝山市）
竹内　正晴（鯖江市）
浅田　茂吉（あわら市）
八十島幸雄（越前市）
東　強吉（坂井市）
三輪　邦夫（永平寺町）
佐飛　徹（池田町）
宇野　格士（越前町）

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

令和7年度 会員増強運動表彰

◇10名以上純増クラブ◇

西方福寿会	（福井市）
照手第二ふれあいクラブ	（福井市）
舞崎町若鶴会	（敦賀市）
小山福寿会第1クラブ	（大野市）
阪谷地区福寿会九頭竜クラブ	（大野市）
屋形町寿クラブ	（鯖江市）
金津第12老人クラブ	（あわら市）
さわやか会	（越前市）
第2寿会	（坂井市）
和老第三クラブ	（坂井市）
和老第八クラブ	（坂井市）
糠老人クラブ	（南越前町）
城ケ谷クラブ	（越前町）
自睦会	（おおい町）

◇5~9名純増クラブ◇

日之出さくら元気クラブ	（福井市）
照手第一ふれあいクラブ	（福井市）
国見寿クラブ	（福井市）
三島町1丁目長生会	（敦賀市）
櫛川ことぶき会	（敦賀市）
山老人クラブ	（敦賀市）
新和町2丁目親和会	（敦賀市）
中央町睦会	（敦賀市）
甲ケ崎白鬚会	（小浜市）
大野長生会第14クラブ	（大野市）
金津第3老人クラブ	（あわら市）
花みずき会	（越前市）
上広瀬よくなろう会	（越前市）
大虫第1クラブ	（越前市）
大虫第3クラブ	（越前市）
北新庄第4シニアクラブ	（越前市）
蓬莱クラブ	（越前市）
上月長寿会	（越前市）
宿区口マンスクラブ	（坂井市）
高椋すこやか第五クラブ	（坂井市）
鳴鹿きよらか第1クラブ	（坂井市）
鳴鹿きよらか第2クラブ	（坂井市）
東部第3クラブ	（坂井市）
緑さわやかクラブ	（坂井市）
境さわやかクラブ	（坂井市）
西部第1クラブ	（坂井市）
京町さわやかクラブ	（坂井市）
河今福寿会	（南越前町）
小倉福寿会	（越前町）
高浜第12クラブ	（高浜町）

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

第54回全国老人クラブ大会

11月5日・6日の2日間、茨城県水戸市において第54回全国老人クラブ大会が開催され、全国から1200名余りの老人クラブ会員・関係者が参集し、本県からは7名が参加しました。

1日目は、「老人クラブが取り組む地域高齢者のための活動」－地域共生社会の実現を目指して－をテーマに、茨城県小美玉市、大分県臼杵市、岩手県陸前高田市の各老人クラブから活動発表が行われ、各地域で行われている支え合いの取り組みが紹介され、高齢者が生きがいを持って地域に関わっている様子が伝えられました。

2日目は、茨城県、水戸市を紹介する映像で幕が開き、苗字研究家の高信　幸男氏による、「あなたの知らない名字の世界～名字には隠れた日本文化がある～」と題する講演がありました。名字に関する雑学や、珍名・難読名字等をご紹介いただきました。講演の後、全老連会長表彰や大会宣言の採択が行われました。最後に来年度開催の鳥取県での再会を期して閉会となりました。

なお、本県から表彰を受けられた方は上記のとおりです。

全国老人クラブ連合会会長表彰

【育成功労表彰】

森田　一昭（前敦賀市老人クラブ連合会会長）

宇野　格士（前越前町老人クラブ連合会会長）

【優良老人クラブ表彰】

郡新生会（勝山市高齢者連合会）

下番玉木シニアクラブ（あわら市老人クラブ連合会）

ふくい健康長寿祭2025

「趣味の作品展」開催

「ふくい健康長寿祭2025」が9月23日（火・祝）、坂井市・あわら市を会場に開催され、生きがい・健康づくりイベントとして、本会主管による「趣味の作品展」が開催されました。

会場となったみくに未来ホールでは、令和7年は公開講座やシニア応援文化祭も併せて行われ、オカリナやバンド演奏、フラダンスなど多彩なステージ発表があり、会場は終日賑わいを見せておりました。

作品展には令和6年を大きく上回る166名の皆さんが参加し、手芸・工芸・絵画・書など113点の力作が出展されました。どの作品にも趣味活動の成果がいきいきと表れ、来場された方々は作品を熱心に鑑賞していました。

なお、来場者の投票により大会長賞3名を決定いたしました。

第3位　疋田　長男（あわら市）
小枝工芸「恐竜」

第2位　河原　幸一（坂井市）
水墨画「冬の三国神社本殿と御神木」

第1位　玉谷　貴文（坂井市）
工芸「ステンドグラス」

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

～輪で話と和を～

県老連会長杯公式ワナゲ交流大会開催

11月12日（水）、福井市の健康の森けんこうスポーツセンターで「県老連会長杯公式ワナゲ交流大会」が開催され、17市町から約230名の選手たちが熱い戦いを繰り広げました。

令和7年も大会では、審判や記録を選手同士で行う相互審判方式を採用しました。ゲームは単独投輪方式で個人戦は3ゲーム、団体戦（10人）と交流部門は2ゲームの合計点を競いました。普段交流が少ない選手同士が、お互いに競い合い、楽しみながら交流を深めました。

選手たちは笑顔でいきいきとプレーし、和やかな雰囲気の中、地域を越えた交流の輪が広がりました。結果は次のとおりです。

◆大会結果

【団体戦】		
優　勝	大野市老人クラブ連合会	2,220点
準優勝	坂井市シニアクラブ連合会	1,932点
第3位	高浜町老人クラブ連合会	1,923点

団体戦 第3位
高浜町老人クラブ連合会

団体戦 準優勝
坂井市シニアクラブ連合会

団体戦 優勝
大野市老人クラブ連合会

入賞者に聞いてみました！

大会で上位に入賞した3名の選手に、①練習の場所や頻度②ワナゲの魅力③今後の目標についてお聞きしました。

伊藤 勝さん
（福井市）
①公民館で週1回
②みんなに会えて騒げること
③90歳までがんばりたい

三上 新さん
（坂井市）
①週1回
②奥が深いこと
③3ゲームでパーフェクトを取りたい

風林 紀一郎さん
（大野市）
①公民館が近いため、仲間が呼びに来てくれる
②みんなで楽しくできる
③体が動く間はがんばりたい

◆大会結果

（敬称略）

【個人戦】		
優　勝	伊藤　　勝（福井市老連）	780点
準優勝	三上　　新（坂井市シニア連）	720点
第3位	風林紀一郎（大野市老連）	660点

公式ワナゲ体験会で地域交流しました！

◆福井市　順化健康クラブ連合会
（順化地区ふれあい祭り）

公式ワナゲ体験会を開催し、子どもたちや地域の方々と楽しく交流しました。

◆越前市いきいきシニアクラブ連合会
（市民プラザたけふ交流会）

ワナゲ体験コーナーを開設し、シニアクラブのPRと会員加入促進に取り組みました。

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

友愛募金にご協力ありがとうございました。

昭和48年から始められた友愛募金運動も、昨今の厳しい経済状況の中でありながら、会員皆様の温かい心と会長様他関係の皆様のご理解、ご協力をいただき、令和7年度も6,140,135円と多くの浄財が寄せられました。厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたこの募金は、「友愛募金運営委員会」の承認をいただき、391名の在宅療養をしている会員およびその介護にあたるご家族へのお見舞い品や火災・水害などの災害見舞金のほか、クラブ活動に必要な助成費や地元市町老連が行う友愛活動事業費にあてさせていただいております。

なお、閉じこもり防止や仲間づくりを目的とした老連独自のサロン活動の充実に、今年度も10%の還元を実施しました。積極的な取り組みをよろしくお願いいたします。

在宅療養高齢者・介護者のお見舞品

今治産タオルセット

令和7年度　市町別友愛募金配分状況

市町名	会員数(人)	総　額 100%(円)	県老連納入額 40%(円)	市町活動費(還元金) 50%(円)	ふれあい活動資金(還元金) 10%(円)
福井市	4,475	492,510	197,004	246,255	49,251
敦賀市	3,641	509,700	203,880	254,850	50,970
小浜市	1,159	171,500	68,600	85,750	17,150
大野市	2,270	419,076	167,630	209,538	41,908
勝山市	945	212,000	84,800	106,000	21,200
鯖江市	1,783	346,720	138,688	173,360	34,672
あわら市	2,183	324,600	129,840	162,300	32,460
越前市	5,054	912,830	365,132	456,415	91,283
坂井市	3,634	722,000	288,800	361,000	72,200
永平寺町	1,372	258,300	103,320	129,150	25,830
池田町	334	89,800	35,920	44,900	8,980
南越前町	1,310	314,139	125,655	157,070	31,414
越前町	2,337	415,600	166,240	207,800	41,560
美浜町	916	178,400	71,360	89,200	17,840
高浜町	1,922	352,060	140,824	176,030	35,206
おおい町	693	118,900	47,560	59,450	11,890
若狭町	1,575	302,000	120,800	151,000	30,200
合　計	35,603	6,140,135	2,456,053	3,070,068	614,014

高齢者eスポーツ交流体験会事業

仲間と一緒にビデオゲームで楽しもう！

永平寺町健康長寿クラブ連合会（児童クラブと交流）

池田町老人クラブ連合会

越前市大虫地区（世代交流のつどい）

鯖江市豊地区

大野市老人クラブ連合会

いま注目の“eスポーツ”を気軽に体験！
脳トレ感覚で楽しみながら、仲間との交流も広がります。
ゲームを通じて、健康も笑顔もアップしましょう。

体験会が始まると、初めてゲームに触れる方々は、少し戸惑いながらも、会長が積極的にゲームを楽しむ姿や、同年代の参加者たちが和気あいあいと参加している様子を見て、次第にリラックスし、ゲームに慣れていきました。さらに、今回の体験会は2回目を迎える地域もあり、前回参加した方々は、よりスムーズに楽しみながら、自然に交流を深めていました。

各地の活動から

活動賞

あわら市　北潟福寿会

健康づくりと地域交流を両立

令和4年度にスタートした「東西会員交流会」は、従来の親睦旅行を見直し、参加しやすい日帰り形式で再スタートしました。健康体操や軽スポーツ、食生活講座、救急救命法講習、日本オカリナ協会の演奏鑑賞など、多彩なプログラムを実施しています。参加者からは体力向上や交流の活性化について多くの喜びの声が寄せられています。東西地区のクラブ会長や役員が連携し、企画・運営を担うことで地域ぐるみの取り組みとして定着しています。参加しやすい環境づくりを通じて、地域の健康づくりと仲間づくりに大きく貢献しています。

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

会員増強運動表彰

大野市　阪谷地区福寿会九頭竜クラブ

地区住民の生きがいづくり

大野市の北東部、白山山系の経ヶ岳のふもとに位置し、広大な棚田が広がる中山間地域に、阪谷地区老人クラブ「福寿会」があります。会員141名・5つのクラブから構成されており、その中の一つが九頭竜クラブです。九頭竜クラブでは、「生きがいづくり」と「心身の健康づくり」をめざして活動を進めています。

活動内容は、公式ワナゲの練習、お寺の講話、花いっぱい運動の花壇づくり、カラオケや大正琴、フレイル予防、ニュースポーツ体験など多彩です。どれか一つでも興味のあることをきっかけに参加してもらうことで、生きがいづくりの一歩につながっています。

また、活動の魅力を感じて新たに入会した方もおり、これが会員増強の大きな力となりました。阪谷地区は特に高齢者の割合が多い地区のひとつですが、九頭竜クラブでは、元気な高齢者が地域の元気につながると前向きにとらえて活動しています。

敦賀市　舞崎町若鶴会

一人ひとりへの声かけで会員増

コロナ禍の影響で会員が減り、活動の継続が難しくなっていた舞崎町若鶴会では、会員増強に向けて、みんなで力を合わせて取り組んでいます。

会員募集のチラシ配布だけでは、思いが届きにくいため、町内の行事や清掃活動の際に、顔を合わせて一人ひとりに声をかけることを大切にしました。さらに、壮年会や町内会にも協力をお願いし、地道な声掛けを積み重ねてきました。

その努力が少しずつ実を結び、2年続けて会員が増加しました。これからも、若い世代も参加しやすい雰囲気づくりや、町内会とのつながりを大切にしながら、より魅力ある活動を目指していきたいです。

女性パワーで奏でる!
スコップ三味線チーム誕生

あわら市老人クラブ連合会の女性委員10人が、新たに「スコップ三味線」チームを結成しました。発案者は同会副会長で女性委員長の栗原さん。

県大会で見た敦賀市団体のスコップ三味線に感銘を受け、「女性だけで立ち上げてみたい」と女性委員会で提案したところ、委員たちから賛同の声が上がりました。

土木会社からスコップ、酒屋からバチ代わりの栓抜きを譲り受け、役員会後などに練習を重ねました。交流会で「きよしのズンドコ節」、「河内音頭」を披露すると、会場は手拍子で大盛り上がり。メンバーも大きな手応えを感じていました。今後はメンバーを増やして地域のイベントなど活動の場を広げていく予定です。

■編集後記

新しい年がスタートしました。皆さんが元気に笑顔で過ごされていることと思います。昨年も地域での活動やふれあいを通じて、たくさんの元気を届けていただき、ありがとうございました。今年も無理なく、楽しく、仲間とともに歩んでいける一年になりますように。この広報紙が、皆さんの交流のきっかけや励みになればうれしいです。寒い日が続きますので、体調に気をつけてお過ごしください。

■協賛広告へのお礼

この度、福井県老人クラブ連合会会報「福井県老連」の発行にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り、誠にありがとうございました。

今後ともなにとぞ末永きご厚誼、ご支援をお願い申し上げます。

(一財)福井県老人クラブ連合会

私たちは福井県老人クラブ連合会の活動を応援しています

■「福井県老連」この広報紙は、ご協賛いただいた企業様はじめ地域の皆様のご協力により発行されています。